

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
66

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



中学校がほしい！

- 小出陽子 (Yoko KOIDE)
- 一級建築士。2000年、UNESCO 遺跡保存才
- フィス建設のため、カンボジアに赴任。2005
- 年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Moi
- をオープンする。現在は、建築設計とレストラ
- ン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺
- 跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人
- 材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援
- 活動を行っている。

MoiMoi Life in Siem Reap Junior High School Wanted!

A new school building with two classrooms for an elementary school was built in 2010 at Angkor Krau and when asked about their opinions, many responded "We want a junior high school in our village next!" There was no junior high school in five villages of the area, and one over 8km away in the city of Siem Reap. Many children drop out of elementary school because they are valuable labor force for their families and less than 10% of all children in the villages advance to junior high school.

I donated 3 hectare of my land to build a junior high school for over 1,200 children from five villages. We ran into financial difficulties, but pressed forward, starting of the construction in April of this year.

思い返せばそれは2010年、アンコール・クラウ小学校に新校舎2教室を増設したときのことでした。生徒や村民に感想を求めたところ、「次は村に中学校をつくってほしい!」という声が多数寄せられました。調べてみると、アンコール・クラウ村を含めた周辺の5つの村には中学校がなく、卒業生は8キロ以上離れたシエムリアップ市内の中学校に通っていることが分かりました。しかも、自転車があれば通えず、雨期には通学が困難になることも分かりました。さらに、村の子供たちは家庭の貴重な労働力。田仕事、牛飼、薪拾い、遺跡での物品販売、弟妹のお守りなどを任されるため、小学校中退者が非常に多く、中学進学率にいたっては村全体の子供数に対して1割以下という現実もみえてきました。

カンボジアの未来のためには農村地域の教育状況を改善しなければならぬ、と常々考えていた私たちは、さっそく中学校

建設用地を探し始めました。しかし、適切な土地は見つかりません。そしてほどなく、自身の私有地3ヘクタールを国に寄付して中学校建設を実行するかどうかという決断を迫られることになりました。迷いながらも、3学年で1200人以上いるはずの5つの村の子供たち全員が通える中学校を創設することが、最も有意義な土地の使い方だと判断しました。校舎建設費の大口寄付者が現れたことも決断を後押ししました。まだまだ資金は足りませんが、こうなったら実現に向けて前進するのみ。こうして今年4月、中学校校舎の建設工事が始まったのです。



中学校校舎建設中!
Junior high school building
under construction!